

総合地球環境学研究所「博物館・展示を活用した最先端研究の可視化・高度化事業」
2018年度報告会 プログラム

日時:2019年3月4日(月)13:30～16:30

場所:総合地球環境学研究所 講演室

時間		取組名称	報告者
13:30～13:35	5分	趣旨説明	近藤康久
13:35～13:45	10分	報告1:地域に根ざした豊かな自然の恵みと防災減災の両立とは?:高質映像による地域協働	吉田丈人
13:45～13:55	10分	報告2:バウンダリー・オブジェクトとして“水”のつながりを可視化するツールの開発	上原佳敏
13:55～14:05	10分	報告1・2の質疑応答	
14:05～14:15	10分	報告3:子どもから地域へ、映像でひろがるサニテーション	山内太郎
14:15～14:25	10分	報告4:ゲームジャム型ワークショップを通じた研究者と市民とのコミュニケーション	太田和彦
14:25～14:35	10分	報告3・4の質疑応答	
14:35～14:50	15分	休憩	
14:50～15:00	10分	報告5:地球環境学研究にもとづいた映像人類学作品の共創と循環	金セツピョル
15:00～15:10	10分	報告6:「環境と風土」の環境教育映像の作成	三村豊
15:10～15:20	10分	報告5・6の質疑応答	
15:20～15:30	10分	報告7:映像を活用した研究プロジェクトの高度化:地域の未来の共創にむけて	阿部健一
15:30～15:40	10分	報告8:100 Years of Food: Film and exhibition for interactive communication between local community, researcher, and public audiences	Steven R. McGreevy (代理:寺田匡宏)
15:40～15:50	10分	報告7・8の質疑応答	
15:50～16:30	40分	総合討論	